

愛着のもてる良い品を作ることを
目指しています



(有)野中木工所
専務取締役 野中賢吾さん

夢

追

い

人

今回スポットを当てるのは、本物志向の家具作りで定評がある野中木工所。専務取締役の野中賢吾さんにお話を伺った。

野中さんは「流行を追いかけるよりも、飽きの来ない、愛着のもてる良い品を作ることを目指しています。それが当社の差別化だと思っています。」と語る。

製品は、総天然木である。ツキ板やシート等は全く使わない。パイン、ヒノキ、ナラ、クルミ、サクラ、ブラックウオールナット、ブラックチエリーなど特に味わいのある素材を使う。作業工程にもそのこだわりが見える。

「どういことだろうか。「材料選別、仕込み、磨き、塗装、組み立て、仕上げまで人の『手』を惜しみません。本当のいい家具を作るには、機械だけでなく、人の技術、職人の技術が大切だと思っています。」

アフターもしっかりしている。生き物の家具を使っていると、割れ、そり、狂いなどが出てくる場合がある。野中木工所では、三年以内であれば、無償で修理し、手直しするシステムを取っている。

インターネットで
新潟から注文された製品。
きちっと梱包して配送します。



使う方への「優しさ」にも気を配る。

家具に対する環境基準が厳しくなる前から「環境に優しい、オイル仕上げ、エコウレタン塗料を使ってきました。」

そして、昨年夏から取り組んでいるのが、「マイナスイオン家具」である

マイナスイオンといえば、電化製品などにも普及しつつあり、健康によいことが認知されつつある。人の免疫力を高め、丈夫な体を保つ抗酸化作用もある。特に家具について言えば、消臭効果、悪臭の元アンモニア、ホルムアルデヒド、エチレン等を吸着、分解し、消臭する。また、抗菌、防湿効果もあるのだ。肩凝り、便秘、冷え性、リウマチ、アレルギーに

マイナスイオンの健康家具



トレノシリーズ



シンプルな
ヴィヴィ



あったかい雰囲気のカジュアル

他にもこんなものが...

も良いと言われている。
この家具はどのようにして作るのだろうか。

「当社では通常のマイナスイオン鉱石の100倍以上強力な天然鉱石を使っています。そして、その粉末を接着剤、塗料に溶かして使用しています。」

どれほど強力なのだろうか。マイナスイオン測定装置を持ってきてもらった。測定すると部屋のレベルは「1」。コンピュータ等の電化製品を使用しているの、数値は低いぞうだ。それからナイオン袋に入った天然鉱石の粉末(ヒロタスペシャル)も持ってきていただいた。袋を開けない状態で近くを測ると、なんと数値は「0.794」もあった。驚きである。確かに健康に良いに違いない。

また、いま野中木工所では、インターネット販売の「comnode house」を立ち上げている。

ネットで、オリジナル家具を注文できる。

どのようにすることが出来るのだろうか。「注文フォームから、まず先に紹介した七種類の天然素材を選びます。それから、基本的な形状の選択

です。種類には、クラシックキユーブ、アジアモダン、ヨーロッパ、カントリー、pasta、vivi、colorなどがありません。そしてサイズは自由に注文していただいて結構です。それから色も。」

だから、多種多様な製品が注文できるわけだ。たまたま取材の日。新潟からの注文品を梱包しておられるところで、いまから発送するとのことであった。

インターネットウェブサイトを見て、本物志向ということわざわざ足を運んで下さるお客様もいらっしゃるぞうだ。そのウェブサイトは、<http://www.nonaka2w.co.jp/index.htm>

夢を聞いてみた。野中さんはこう語った。

「こだわった商品作りをしているメーカーがあることを多くの人に認知してもらいたいですね。末端の顧客の方々にも。そのためには市場開拓をし、PRを強化していきたいと願っています。是非、良いモノを探している方に出会いたいですね。」